

果樹の種類、品種の選び方と苗木の植付け

宮下撰一

北海道の果樹栽培は現在面積七〇〇〇

公であるが、第二期総合開発計画によるとこれを三倍の二万公に拡大する方針が打ち出されている。

これに対し道内各地で開拓バイロット方式による新しい果樹の集団産地の開発が計画されており、これから果樹を取り入れようとする向きも少なくない。それで新しい果樹を植える人々のために、種類や品種の選び方や苗木の植え付け方法についての参考に供したい。

一種類の選択

先ず考えなければならないことは気候風土との関係で、土地の広い北海道では地帯によって気候や土質が著しい差があり、適する果樹の種類も自から違っている。

気候のうち最も重要なのは温度で、温度によって種類が制約され、品質や熟期などに大きな影響がある。

温度から見て北海道は大体三つの果樹地

第1表 果樹の耐寒性

栽培限界温	果樹の種類
-35°C	グスペリー、カーランツ、セイヨウキイチゴ、ユスラヴァ、クラブリンゴ
-30°C	リンゴ、支那ナシ、オニグルミ、アンズ、酸果オウカウ、実生スマモ、イチヨウ
-27°C	西洋ナシ、改良スマモ、マルメロ、支那グリ
-25°C	日本ナシ、日本グリ、ウメ、オウカウ、欧洲スマモ
-23°C	菓子クルミ
-22°C	ブドウ
-20°C	モモ

ある。

(2) 冬期低温な地方

冬の最低気温が一三〇°C内外に下る地方で、上川、十勝の大部分と後志の山麓地帯が含まれる地域が多い。

ところで果樹の耐寒性は肥培管理や樹齢、品種などとも関係があるが、これまで観察された休眠期の耐寒温度を示すと次のとおりである。

(3) 適温地帯

以上の(1)、(2)以外の地方で、現在の主な产地はいずれもこの地方に存在している。

温度の外重要なのは風や濃霧の関係で、適温地帯でも常習的に風が強い地方や夏期濃霧のかかる地方は経済栽培には不向きといえる。

つぎに土質との関係も重要で、一般に果樹は土地に対する適応性が広く、極端な土質でなければ大抵の処でできるが、永年生で根が深く入るので、土地の深い排水の良いことが有利で、地表近くに磐がある土地や地下水の高い土地は生産力が低く樹が弱りやすい。特に北部の寒冷地では地下水が高いと樹の成熟がおくれ、冷凍害をうけやすい。

土壤酸性との関係は一般にpH六前後が適しているがブドウはpH七、クリ、モモは六以下の酸度を好む。

二 品種

最近品種改良の進歩や嗜好の向上、栽培技術の進歩などによって、品種の選択には新しい動きがみられるので土地に適した有利な品種を選ぶようにしなければならない。

(1) リンゴ

リンゴの品種は第二表のように現在国光

以下の結果から見て、この地方の適種はリンゴ、ナシ、スマモ、アンズ、小果樹類で、夏期温度の高い地帯はブドウにも適している。これは冬期枝を地上にたおして防寒することができるからである。この地帯

樹類などで、凍害を防ぐことが栽培上重要

な問題である。

が最も多く、紅玉がこれにつづいているが、これらの品種は最近著しく市場価値が低下している。これに対しデリシャス系やゴールデン、レッドゴールドなどは生産が年々増えてくるにも拘らず、高価格で取り引きされ、

第2表 リンゴの品種別栽培割合(昭35年)

品種	早生種	祝	旭	レッドゴード	紅玉	デリシャス系	ゴールデン、デリシャス	国光	その他	計
栽培割合	%	2.9	7.7	15.2	0.5	19.4	11.3	1.0	35.4	6.6

このような事情を反映しスタークリング中心とするデリシャスが全国的に増殖されているが、北海道のスタークリングは府県産のものに比べ肉質が堅くて品質が一段優れており、生産が増えれば府県市場に移出することができる。

このことは昭和三十八、三十九年の两年、東京で開催された全国品評会において道産のスタークリングが圧倒的な好成績を収めた

第4表 全国スターキング品評会一覧(昭38年)

	出品点数	入賞率	入賞順位(点)			品質	
			金賞	銀賞	銅賞	糖分	硬度
北海道	23	65%	4	7	3	13.2	1.67
青森	110	26%	8	4	17	12.3	1.54
岩手	57	39%	2	9	11	12.8	1.48
秋田	24	25%	0	1	5	12.6	1.37
山形	28	22%	0	1	5	12.5	1.38
福島	26	19%	1	3	1	12.2	1.40
長野	35	51%	0	5	13	13.0	1.38
その他	8	0%	0	0	0	—	—

第3表 リンゴ品種の所得弹性値(昭38年)

品種	祝	旭	紅玉	スターキング	ゴールデン	国光	印度	リンゴ	ミカン
弹性値	0.37	-0.51	-0.80	1.86	1.23	-0.14	0.12	0.33	1.70

備考

所得弹性値といふのは所得の増加率に対する商品の消費の伸び率を示すもので所得の増加と同率で消費が増すものは弹性値が1である。リンゴ全体の弹性値が0.33とあるのは所得が10%伸びるとリンゴの消費が3.3%増すことを示す。

ミカンは所得が10%伸びると消費が17%増す。また(一)のものは所得が増えると消費が減ることを意味している。即ち紅玉は所得が10%増すと消費が8%減ることになる。

第5表 10年後における地帯別品種配合割合(昭和46年目標)

品種	祝	旭	レッドゴールド	紅玉	デリシャス系	ゴールデン	国光	早生その他	計
南部	10	10	7	24	28	5	12	4	100
中部	8	20	10	15	28	5	10	4	100
北部	6	30	15	10	25	5	5	4	100

注 南部は札幌以南、中部は空知、上川、北部は北見、十勝

第6表 新植の場合の品種の割合

品種	祝	旭	レッドゴールド	デリシャス系(リチャード)	ゴールデン	その他	計
南部	8	8	15	45~50	5~10	5~15	100
中部	7	15	20	45~50	5	0~10	100
北部	6	20	25	40~45	5	0~5	100

なお最近紅玉がゴム病の多発によって著しく不評であり、紅玉も国光程度に減じ、これに代ってデリ系、レッドゴールドなどを増やすことが有利と考えられる。

以上のようないくつかの目標を達成するためには直接或いは改植などによって既存品種を更新

ことによつて十分うなづかれるよう。参考までに昭和三十八年度の結果を示すと第四表のとおりである。

それではリンゴの品種の配合割合をどのようにすべきであろうか。これについては昭和三十六年に道主催の下に関係者が集まり十年後におけるリンゴ品種の配合目標を検討した結果が一応基準となろう。(第五表)

するともに、今後新たに植えるものは重点的にデリシャス系レッドゴールドを植え付ける必要がある。次に新植の場合の地帯別品種配合割合の一例を示すと第六表のとおりである。

尚デリシャス系の栽培にあたつて注意を

要する点は、粗皮病が出やすいことであるが最近の研究によつて丸葉カイドウ台ものが発病の少ないことが判明した。したがつて今後、デリシャス系は丸葉カイドウ台木の苗を選ぶようにしなければならない。

(2) ブドウ

ブドウは古くからナイヤガラかカ梅ルスアーリー、デラウエヤの三品種が主体で、現在ナイヤガラ三九%、カ梅ルス三六%、デラウエヤ一八%、その他七%の割合となつてゐるが最近新品種としてポートラン

ドが伸びてきている。

ポートランドは白色種でナイヤガラに類似しているが、熟期が十日位早く、札幌地方では九月二十日前後に収穫でき、冷害年でも完全に成熟する。

収穫後果樹が脱落しやすい傾向があり、

似たるが、熟期が十日位早く、札幌地方では九月二十日前後に収穫でき、冷害年でも完全に成熟する。

以上之外、有望な品種としてフレドニヤ、ヒムロットなどがある。

フレドニヤは黒色種でカ梅ルスよりも熟期が遅すぎ地帯ではこれに代る品種となる。

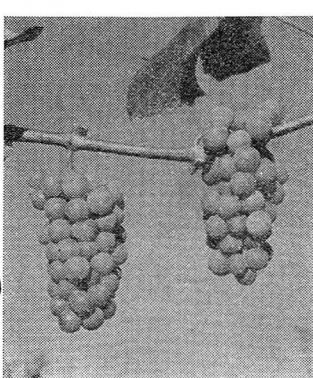
ヒムロットなどがある。

フレドニヤは黒色種でカ梅ルスよりも熟期が早いが褐斑病に侵されやすい欠点がある。

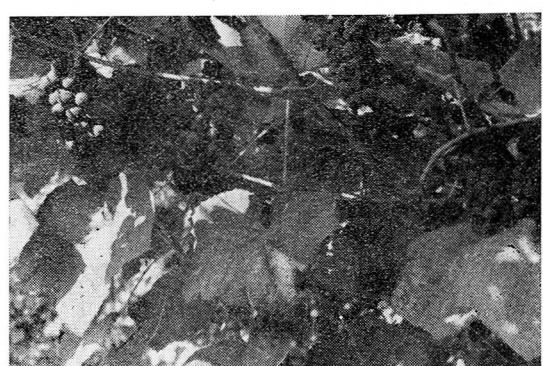
ヒムロットは欧洲系の種子無しブドウで、札幌地方では九月上旬に成熟する最早生種で有望であるが耐寒性が弱く、冬期樹体の保護に十分注意する必要がある。

(3) ナシ

ナシは現在身不知が六〇%、長十郎一三%、バートレット一一%、その他日面紅、ブルーデーヴィン、相内など計一一%の割

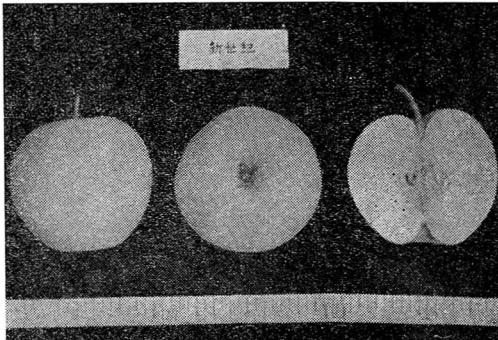


ポートランド



フレドニヤ

新世紀



合となつてゐる。有望品種としては新世紀、甘玉、北洋、浜瀬一号などがある。これらの品種の特性を示すと次のとおりである。



北洋

大	白	岡	山	倉	方	砂	目	布	北	オ	高	黄	日
久	保	早	旱	早	早	早	早	早	ナ	ボ	佐	藤	品
鳳		生	生	生	生	生	生	生	レ	シ	藤	錦	種
中	中	中	中	中	中	強	中	中	強	強	中	中	樹勢
九	八	八	八	八	八	八	八	八	下	七	七	七	熟期
月	月	月	月	月	月	月	月	月	七	七月	七月	七月	九月
下	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	旬	上	上旬	上旬	上旬	下旬
									中	上旬	上旬	上旬	中旬
									上	淡	淡	淡	中旬
									中	黃	帶	黃	中旬
									下	赤	淡	赤	中旬
										鮮	紅	斑	中旬
										紅	頂	部	中旬
										紅	部	淡	中旬
										斑	淡	淡	中旬
上	上	上	中	上	中	中	中	中	上	中	上	中	品質
多	中	多	中	中	中	中	中	中	中	少	多	多	收量



アンズ「平和」

品種		樹勢		熟期		果樹		品質		取扱	
品	種	樹勢	熟期	果樹	熟期	大小	品質	果實	品質	取扱	
ド	イツ大玉	中	中	七月下旬	中	中	中	中	中	中	中
赤	実大玉	中	中	八月上旬	中	大	大	大	大	大	大
(在来種)	ホリソンヌ	強	強	八月下旬	中	中	中	中	中	中	中
		ク	ク	八月上旬	中	上	多	多	多	多	多
		タ	タ	八月上旬	中	中	中	中	中	中	中
		アンズ	アンズ	八月上旬	中	中	中	中	中	中	中
		グスペリー	グスペリー	八月上旬	中	中	中	中	中	中	中
		宮坂	宮坂	八月上旬	中	中	中	中	中	中	中
		平和	平和	八月上旬	中	中	中	中	中	中	中
		ゴブン	ゴブン	八月上旬	中	中	中	中	中	中	中
		ウメ	ウメ	八月上旬	中	中	中	中	中	中	中

一〇二

三スモモ

質も良い

(4) その他の種類

その他の種類について優良品種の特性を表示する前表の通りである。

(1) 苗木の取扱い

三 苗木の植付け

(1) 苗木の取扱い

苗木は春に植付けるが、苗木の買入れは秋の方が多い。希望の品種が揃いやすい。

苗木は根群のよく発達した節間のつまつたもので病虫害の被害のない健全なものを選ぶことが大切で、苗木が手に入ったら一応ウスブルンカリオゲン、ルベロン等の一〇〇倍液に二~三時間浸漬して消毒し、植付け時期まで圃場に横伏せて貯蔵する。(図)

(2) 植穴掘り
樹木の栽培では、排水の良い場所が適している。その方法は幅三〇㌢、深さ三〇㌢の溝を掘り、苗木の根元をそろえて審密に並べ、根の上に三〇㌢位の厚さに土をかけた後、水を撒いて土を湿らせる。なお北部の寒冷地では土際の部分が凍害を受けることがあるので、覆土を厚くし、苗木が三分の二位かくれるようにすると安全である。

植穴は春植の場合はなるべく秋のうちに掘つて土を落着かせるのがよい。

穴の大きさはリンゴ、ナシ

では、径一尺、深さ七〇吋位に掘り、一穴につき堆肥二〇キロ、過磷酸石灰五〇〇キロほどを土とよく混ぜながら埋め戻しておく。酸性が強い場合は炭酸石灰を五〇〇キロ一キロ低土に混入する。

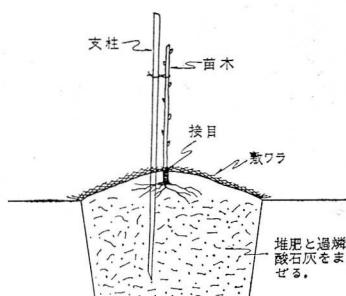
よう注意し、春に植穴を掘った場合は土が沈下して深植となるので、一〇~一五倍位高植えにする。(図)



苗木の横伏せ

第7表 植付け距離と本数

種類	距離	10%当たり本数
リンゴ	7~9m	20~12
ナシ	5.5~7m	33~20
ブドウ	5×8(棚) 2.5~8(垣)	25 50
オウメ	8~9m	15~12
アソ	5.5~6m	33~28
スマモ	6~7m	28~20
クルミ	5.5~6m	33~28
グスペリー	6~7m	28~20
カーランツ	8~9m	15~12
	1.2×2m	410
	2×2m	250



なおブドウの接木苗は接目が地上三~四
cmになるように植えるのがよい。

植付け作業中は苗木の根を日光にさらし
たり、風にあたると弱るからぬれた葉をか
けておくといい。

植え終わったらリンゴ、ナシ、オウメ、
アンズ、スマモなどは長さ七〇~八〇cmに
切り、ウメとモモはこれより短く三〇~四
〇cmに切り詰める。

ブドウは発育の良い芽を二芽残して短く
切る。

つぎに支柱を立てて苗木を軽くしばり、
風で苗が動くのを防ぐ。

なお乾燥すると苗の活着が悪くなったり
弱つたりするから、根際に一〇cm位盛土し
たり、根元に草の生えないいどに藁桿類
を敷いてやる。

サクランボの力クテル

桜桃
砂糖

茶サジ一杯
水
三片

李の種の中の白い仁を十個入れると
こみ密封貯蔵すると二ヶ月で成熟す
る。苦く爽快な香を含んで更に良い。

果実酒作り方三題

梅酒

梅の実
一・二キロ

焼酎
一・八kg

氷砂糖
一・二キロ

梅の実は新鮮で傷のない未熟な青梅
を選び、農薬を洗い落し、から拭きす
る。広ロビンか瓶の底に梅を二重に並
べ氷砂糖と交互に重ね焼酎を注ぐ。水
砂糖の外蜂蜜、グラニニー糖一kgでも
よく、三分の一位まで減じてもよい。

蓋をしたらビニールテープで口張りし
て冷暗所に貯蔵する。二十五度焼酎で三
ヶ月経つと成熟し琥珀色のトロリとし
た液体になるので、中の実を取り出し、
梅酒は逐次飲用する。シロップにする
場合は三倍にうすめる。

すもも酒

李
一・二~一・五キロ

焼酎
一・八kg

砂糖
一キロ

八分位熟した堅い果実を丸ごと漬け
る。ほろ苦く爽快な香を含んで更に良い。
以上をシェーカーに詰めて二分間強
く振る。これに李酒を少し加えてのむ。

植付けの距離は土地の肥瘦や品種によつ
て異なるが、各種類について、植付距離を
十ヶ当たりの栽植本数を示すと第七表のと
おりである。

尚最近初期収量を多くするために計画的
な密植栽培が一部で行なわれている。

その方法には列状植え、互いの目植えな
どがあるが、傾斜地では間作物の作付けや、
農具使用の利便などから列状植えとするが
平坦地はいずれでもよい。

(4) 植付け	列状植え	互いの目植え
○ × ○ × ○ × ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
○ × ○ × ○ × ○	×	×
○ × ○ × ○ × ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

(×印 間伐樹)

植付けの距離は土地の肥瘦や品種によつ
て異なるが、各種類について、植付距離を
十ヶ当たりの栽植本数を示すと第七表のと
おりである。

尚最近初期収量を多くするために計画的
な密植栽培が一部で行なわれている。

その方法には列状植え、互いの目植えな
どがあるが、傾斜地では間作物の作付けや、
農具使用の利便などから列状植えとするが
平坦地はいずれでもよい。